

登録コード	SE405200	開講年度	2026						
授業題目	生態学				担当教員	高橋 耕一			
英文授業名	Ecology				副担当				
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・1時限		対象学年	2年	
講義室	理学部第12講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	必修
信大コンピテンシー 非該当									
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】			
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ								
	【2023年度以降加付対象】理学の各分野における専門知識				生態学の知識や理論をとおして, 自然の生態系の成り立ちを理解できるようになること.				
	【2023年度以降加付対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力				生態学の知識や理論をとおして, 自然の生態系の成り立ちを他者に伝えられるようになること.				
(2)授業で学べる「テーマ」	その他								
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要	生物は常に外界の環境要因の影響を受けながら成立している．そのため，生物，あるいは生物群集を理解する上で環境との関わりを切り離して理解することはできない．そのため，最初に生物の環境との関わりについて概説した後，進化，生活史，個体群などについて講義を行う．								
(5)授業のキーワード	環境，進化，生活史，個体群								
(6)授業計画	1. イントロダクション 2. 環境条件 1 3. 環境条件 2 4. 生物圏 1 5. 生物圏 2 6. 環境との関係 1 7. 環境との関係 2 8. 環境との関係 3 9. 環境との関係 4 10. 進化 1 11. 進化 2 12. 生活史 1 13. 生活史 2 14. 個体群の分布 15. まとめ，授業アンケート								
(7)成績評価の方法	授業ごとの予習課題と小テスト，期末試験で次のように5段階の評価する．成績評価の区分は秀(90-100点)，優(80-89点)，良(70-79点)，可(60-69点)，不可(59点以下)である．								
(8)成績評価の基準	以下の評価基準を基本とする。 秀：授業の達成目標の水準からみて卓越している。 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある。 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある。 可：授業の達成目標の水準にある。								
(9)事前事後学習の内容	授業ごとに予習の指示を行う．毎回の講義の最初に前週の内容の小テストを行うので，復讐をしておくこと．								
(10)履修上の注意	関連する書籍を読み，積極的に知識を身につけること． 授業の進行状況に応じて，授業計画の変更がある場合，その都度，連絡する．								
(11)質問,相談への対応	随時，受け付ける．								
【教科書】	特に指定しない．								
【参考書】	Ecology. Bowman WD, Hacker SD 著．Sinauer． 生態学．堀道夫 監訳．京都大学出版会．								